

留学報告

英語アメリカ文化コース

四年 大土橋直紀

私はアメリカ合衆国アイダホ州にあるアイダホ大学に一年間、交換留学生として語学学習プログラムであるALCPに在籍し、英語学習を中心とした勉強をしながら、アメリカを中心とした他の国の人々や文化に触れ、英語を通してとても興味深い体験をしました。また、海外の文化を通して日本の文化を見つめ直すことができました。

勉強は日本の大学より厳しく、全てが英語ということもありますが、毎日出るたくさん宿題にも苦しめられませんでした。その分身につく知識が多く、アメリカ人の説明する英文法や文章構成は日本人の解釈と少し違うものがあり、とても勉強になりました。分からないところは友達と力を合わせて解いたり、授業が終わったあとに図書館等にグループで集まったりして、友達との交流も深めつつ英語を理解しようと努めました。

週末にあるパーティでは、授業外で他の日本人や日本以外の国籍の人と、日ごろから勉強した英語を駆使しコミュニケーションを図る機会がありました。また、大学内の色々なイベントにも参加しま

した。私は日本人学生協会に参加しており、日本の文化を紹介するための祭りにメンバーの一人として、他の日本人と協力してよいイベントを作ろうと奔走しました。そこで、日本に興味を持った他の国の人々と交流する機会もありました。



また、アイダホ大学では日本語の授業にアシスタントとして参加し、改めて日本語の素晴らしに

対して興味をわき、帰国後から日本語教員を目指して勉強しています。そして卒業後は、海外の語学学校や大学で、現地の人と交流しながら日本の言葉や文化を広めようと思えます。この留学という経験を生かし、私はこれから、日本と様々な国をつなぐ架け橋のようなものになれるように、社会に出てからも勉強を続けていきたいと思っています。

ドイツ語ドイツ文化コース

四年 山田 敏幸

私は、ドイツのデュッセルドルフというところに一年間の留学を経験しました。趣味のピアノをきっかけに学びはじめたドイツ語でしたが、今

では、ボランティアや私の日常生活で活躍しており、私の大きなステータスとなっています。

留学の初めのころはやはり言葉の壁は大きく、初めの三ヶ月は友達もいなくなつたため、家と学校を往復するだけのつまらない毎日を送っていました。ドイツで私が通っていた学校では午前午後のみ授業となっており、ほとんどの時間を持て余していました。それでも学校に行けば休み時間には話す友達がいたり、学校のイベントで新しく出会う人々はいました。しかし、いまいちドイツ語の能力が伸びていないと感じることができず、会話も、自然とそつげなく短いものとなっていました。でも、それも約三ヶ月のことでした。



私の趣味の一つはサッカーをすることなのですが、ある日クラスメイトに誘われて、週に一回試合のあるサッカークラブに入ることになりました。もちろん初めは、サッカー独特の言葉を理解することができず、また、日常会話もこなすことが困難であつたため、苦労が絶えませんでした。比較的早くサッカーで使うドイツ語は覚えることができ、日常会話(汚い言葉も含まれます)もスムーズに覚えていくよ

うになりました。またこれをきっかけにドイツ人の友達も増えることとなり、さらに多くのドイツ語を覚えることができるようになります。留学はよい方向に向かうこととなりました。一年間の留学を終え帰国する僕に、友達は口を揃えて、「トシのドイツ語は本当に良くなった」と言ってくれました。「初めは心配だったけど」をつける友達も多かったですが)

この一年間で私が学んだことは趣味から広がる世界です。私の場合には世界中で人気のあるサッカーから広がりましたが、国が違っても共通の趣味をもつ人々は多くいます。それを生かせば自然と外国語を楽しく、またスムーズに学ぶことができ、留学で苦労している人に私はこのひとつの可能性を提供したいです。

サークルさるく

バスケットボール部

代表 則行 優志



僕たちは体育館で週三日、バスケットを楽しんでいます。経験者、未経験者との境界は全くなく、一つのスポーツを通しコミュニケーションの大切さを学んでいます。県内の大会にも積極的に参加し、チーム力の向上も目指しています。また、このサークルの醍醐味は多国の留学生と仲良くなれること。本場のバスケットは一味ちがいますよ男女問わずバスケットが好きな方、まずは体育館に足を運んでみてください。きっとこのサークルを好きになってくれるはずです。

フラメンコ部

部長 増留 愛香音



¡Hola! 私たちフラメンコ部は、月・水曜日の週2回体育館で、外部から先生にお越しいただき、楽しく活動しています。年に一度の外語祭でのフラメンコリサイタルを目標とし、最近では地域や他大学でのイベントなどで発表する機会をいただくこともあり、部としてとても充実しています。完成することのない「舞」の中で自分を表現することに魅力があり、部員一人ひとりがフラメンコに対する熱い思いを持っています。普段触れることの少ない「フラメンコ」ですが、入り込むと自身にしかない「色」を誰もが出すことの出来る不思議なものなので、ぜひみなさんもそれを感じてみませんか?

語学週間レポート

ドイツ語週間

二〇〇八年一月十五日〜

一月十八日

二〇〇七年度のドイツ語週間は、ドイツ語を受講する一年生、コース内外の二、四年生、教職員の皆さんなど多くの参加を得て、一月十五日から四日間実施いたしました。実施プログラムは以下のとおりです。

- 一、十五日〜十八日 ポスター展
- 二、十五日 カーニバル 仮装、飴撒き、ネクタイカット
- 三、十六日 ドイツ映画上映 『ベルリン、僕らの革命』
- 四、十七日 人形劇上演 『ヘンゼルとグレーテル』
- 五、十八日 ドイツランチ スープ、サラダ、ドイツ風ハンバーグ、チョコレートプディング

人形劇は二〇〇七年に新たに作り入れたプログラムです。すべてゼロからの準備で、人形の作成、舞台作り、人形遣いと台詞の練習など、完成までは予想を超える大変さでした。一年生から四年生まで総出で協力した上演は、多くの拍手とともに無事終了し、充実と



満足の時間として学生たちの記憶に残っています。

カーニバルの仮装、飴撒き、ネクタイカットは今ではすっかり学内に定着し、お祭り騒ぎも板についてきました。カーニバルの由来はキリスト教なんですよ。

ドイツ料理も例年通り、マラ先生の指導のもとプロの味を楽しんで歓談の時を過ごすことができました。

ドイツ語週間は一月の定期試験直前の行事ですが、二〇〇七年度も無事終了、来年度はさらに充実と洗練(?)を目指したいと考えています。

(コース主任 山口慶子)

フランス語週間

二〇〇七年度のフランス語週間は十一月一日から七日までの一週間を通じて実施された。この行事は、大衆発足の二〇〇一年度から、アメリカで十一月に行われているフランス語週間に長崎から参加するという形で教員主導で始めたが、七年目を迎え、すっかり学生達の行事に成長してきている。学生達の掲げた目標は、「フランス革命 歴史に名を残すフランス語週間」という気合の入ったもので、特色を出そうと努力したようである。この週間の目的は、毎日、フランス文化の異なる側面(料理、スポーツ、文化、映画、職業など)を紹介・体験しようというも



のであり、スケジュール自体は例年通りであったが、内容は工夫をこらそうと、四年生を中心にスタッフを決め、準備は五月末から始めている。終了後にはそれぞれの部門の責任者が活動をまとめ、一冊の報告書にしているが、今年の報告書は、分量も厚く、力が入っているのが感じられる。フランス語コースの学生が、企画を成功させるために、学年を超えて協力し、工夫するよい機会になっている。

(コース主任 阿南婦美代)

中国語週間

中国語コースではまとまった一週間で行事を行うのではなく、年間数回に分けて開催しました。春には新入生歓迎会を開き先輩から中国語学習・中国留学体験談・就職活動などについて話を聞きました。なごやかな雰囲気でも楽しいひとときを過ごしました。

二〇〇八年一月十日には中国語朗読大会を行い、審査員に学長・学部長・学生部長をお招きして、熱のこもった大会となりました。一等賞は中国語コースのホームページにムービーを載



せていますので、ぜひご覧下さい。一月二十四日には餃子作りの実演を行いました。前日から本場中国から来たシェフと池先生と学生で一〇〇人分の餃子を皮から手作り準備し、当日は少し残しておいた生地と具で、学生たちが餃子作りを体験しました。味も大変好評で、みんなおいしそうに食べていました。この模様もホームページにムービーを載せています。

同日の午後には四年生の歓迎会を兼ねた文芸会を催しました。詩を朗読する人あり、歌を歌う人あり、クイズをする人あり、チャイナドレスのファッションショーありで、教員も出し物をして、みんなで盛り上がりました。中国語の世界大会に出場した福島彩子さんはそのときのスピーチと歌を披露してくれました。

(コース主任 三枝裕美)

学生寮 アンペロス通信

二〇〇七年下半期の回想



二〇〇六年から始まった
誕生会も二年目をすぎまし
た。

当時は該当者を集めケー
キを食べるだけの地味な会
でしたが、昨年度は外部か
らも歌やダンス・楽器演
奏・手品・落語・三味線な
どを披露していただいで楽
しい誕生会を送ることがで
きました。

しかし、最近では出席率
が半分以下の時もあり、出
演者に申し訳ない事もしば
しば。振り返ってみると、
七月のビンゴ大会・一月の
カラオケ大会また初めて試
みたクリスマス会の立食パー
ティは大変な盛上がりで参
加した全員がひとつになっ
て楽しい時間を過ごし、終
つた後も「面白かった!」
「また、したい!」などの
声がかれ嬉しい気持ちに



なったものでした。

よく、学生と話していて
聞く事なのですが「もつと
他の学校の人や留学生と友
達になりたいけど自分から
は…」と耳にします。せつ



かく留学生も多いアンペロ
ス寮において「もつたいな
い!」というか、その前に
「えーあんまりおしゃべりす
る機会がない?」ことに驚
きました。夜、事務所にき
ておしゃべりしてる時とか
初対面同士でも紹介してあ
げるとすぐ、友達になるこ
の子たちが「そつつか、き
つかけか!!」

これからは、誕生会にし
ても他の企画にしても「寮
生参加型」が大前提なんで
すね? 「やってあげる」
イコール「楽しんでる」は
自分達の自己満足に過ぎな
い事に気づかされました。

クリスマス会の思いつき

イベントだけでなくアンペ
ロス寮という生活空間の中
での付き合いは寮生の「声」
をもっと聞く事が大事で、
私たち職員が受け止める
「耳」と「心の扉」を開い
ているか?が重要なことだ
と思いました。いろんな理
由で途中で退寮する人も、
卒業し就職した人もいます
が、「ごはん、食べているか
な?」とか「風邪引いてな
いかな?」とかこの時期は
「仕事覚えられているか
な?」とか(なんか故郷
のおばあちゃんみたいで
すね!)また、新入生も親元
を離れ初めての一人暮らし、
夜は特にホームシックにな
る子もいて私達の声かけや、
スキンシップが必要な時が
あります。一人ひとりがア
ンペロスを出て日本全国、
いえ世界各国に飛び立ち、

クリスマスと言えば「クリ
スマスツリーにケーキ」これ
でよし!さてさて、ブレゼン
トも必須です!後は会場の準
備と出し物手配でOKと職員
全員一安心。でも何かがおか
しい?不足?...そうです、サ
ンタが居ない!
ユージンの「恋人がサンタ
クローズ」にちなんで
「寮母がサンタクローズ・管理
人がサンタクローズ」これで
決まり。と言う事で可愛らし



この寮で過ごした数年間で
彼女達の思い出のアルバム
として懐かしく思えてもら
えたら、どんなに嬉しいこ
とでしょう!二〇〇八年も
アンペロスは新たな取組み
を行います。五月から寮で
始まった英語教室は自分自
身をステップアップできる
環境を作つてあげたいとい
う想いから実施するもので
す。これをきっかけに「寮
生による寮生のための寮」
を目指し、もつともつと寮
生同士が交流できる場を一
緒に作つていけたらと考え
ています。

アンペロス 職員一同

い?寮母サンタと不気味な管
理人サンタが誕生致しました。
寮生からはブレゼントの代
りにおほめの言葉とひやかしの
言葉をいただき楽しい時間
を共に過ごしました。
(アンペロス管理人)



時津紹介多言語ホーム
ページ公開中です。



URL <http://www.nagasaki-gaigo.ac.jp/togitsu/togitsu/togitsu.html>

平成十九年度「長崎県学生さ
んのまちおこし・地域づくり事
業」でプロジェクトを採択され
た「時津・桜桃グループ」が取
り組みの成果となるホームペー
ジを公開しています。ぜひご覧
ください。

AED(自動体外式除細 動器)の設置について

二〇〇八年三月、本学敷地内
に二台のAEDが設置されまし
た。一台は本館事務室横に、も
う一台はアンペロス寮事務室前
に設置しました。

また、設置を受けて職員研修
会でAED使用に関する講習を
開催し、
AEDの
特性や使
用方法を
学びまし
た。



異動報告

退職

- ・(二〇〇八年三月付け)
- ・後藤靖宏教授(教職)
- ・高橋博幸教授(大学スペイン語スペイン文化コース)
- ・仲矢信介教授(大学日本語日本文化コース)
- ・リチャード・ホドソン講師(短大英語学科)
- ・今坂政義さん(守衛)

新任教職員紹介



田口久美子教授(教職)



新居田純野教授
(日本語日本文化コース)



ブライアン・ダッツマン
講師
(英語英米文化コース)
(2007年8月付け)



ジェフリー・マックフ
アーソン講師
(短大英語学科)



安田眞由美特任講師
(日本語日本文化コース)

教員四名、職員一名がこの春本学を退職されました。後藤先生と今坂さんは本学での勤務を最後に、定年となります。長い間本学の発展に寄与していただいたことに感謝申し上げます。高橋先生、仲矢先生、ホドソン先生は新天地で活躍されています。今後の皆さんのご多幸を心よりお祈り申し上げます。

・設楽政和さん(守衛)
・松本猛さん(守衛)
(以上二〇〇八年四月付け)
前年度八月より教員一名、今年の方より教員四名、職員二名の方となりまして、どうぞよろしくお願いいたします。
(総務課企画広報係)

旅程管理研修報告

二〇〇七年度より開講した旅程管理主任者(ツアーコンダクター)資格取得講座「旅程管理研修」では、研修開始初年度に、海外添乗が可能な総合旅程管理コースを五十二名が、国内添乗を行う国内旅程管理コースを十一名が修了しました。ニユーカレドニア、香港、ハワイ、アメリカ等への実務研修旅行も実施し、修了者の中には、旅行会社への就職を目指している学生や添乗員のアルバイトを続けて受講費用分を既に稼ぎ出した学生もいます。研修旅行参加者は、短期間でも海外で仕事の体験をすることによって、添乗実務内容だけに止まらず多くを学び取って帰国しているようです。



今年度、四月十七日に開催した学内説明会では、新入生を中心に四十二名の参加があったことからも学生の関心の高さが伺えます。主任講師の説明に加え、昨年度研修を修了した本学卒業生の添乗実体験も聞くことができ、参加者アンケートでは六十一パーセントが「受講

する」、残り二十九パーセントが「受講を検討する」と回答しており、「受講しない」という回答がなかったこと、また、研修機関事務局に問い合わせのため訪れる学生の中にも、既に修了した学生からの口コミでの訪問が増えていることから、今後多くの受講生を迎えて研修が盛り上がる事が予想され、研修機関事務局としても楽しみにいたします。

二〇〇八年度の集中講座は、下表のとおり基礎研修、指定研修各五回開講予定です。読者の皆様からのお問い合わせやお申込みもお待ちしております。

二〇〇七年度

受講者の体験談
英語アメリカ文化コース
四年 深堀伸也

私が旅程管理主任者資格を取得しようと思ったきっかけは、旅行業をお客様に最も近い角度から見たかったからです。

この資格を取得することで、的確かつ迅速にお客様と旅行を動かすための知識を学びました。研修旅行では実際に添乗員として動くことで、お客様に伝えること、迅速に動くことの難し

(旅程管理研修機関事務局 別所)

【2008年度旅程管理研修 実施日程】

| | | |
|------|-----|------------------|
| 基礎研修 | 第1回 | 5月3日~6日(終了) |
| | 第2回 | 8月1日~4日 |
| | 第3回 | 9月3日~6日 |
| | 第4回 | 11月8、9、22、23日 |
| | 第5回 | 3月21日~24日 |
| 指定研修 | 第1回 | 6月7、8、21、22日(終了) |
| | 第2回 | 8月5日~8日 |
| | 第3回 | 9月10日~13日 |
| | 第4回 | 12月6、7、13、14日 |
| | 第5回 | 3月28日~31日 |



2007年度実務研修旅行での一コマ
(ハワイ島キラウエアのイキ火口で撮影)

さを学び、仕事の大変さを体験しました。しかし、大変さの裏には「やりがい」を感じ、旅行業の魅力を知った瞬間でもありました。

「語学講座」受講生募集

外国語集中講座

期間：八月一日(金)～八月七日(木)

八月三日(日)は休講

二時間×六日間＝十二時間

時間：(午前) 十時～十二時 (午後) 一時～三時半

受講料：初級一万円

中級一万二千元
上級一万五千元

(本学学生・高校生以下半額)

定員：各二十名(先着順)

申込方法：「電話」または「本学WEBサイト」

夏の一週間、本学の外国人講師が語学講座を開講します。六言語八コースで、英語のみ初級・中級・上級の三コース行います。「シネマで英語！」

英会話初級(午前)

映画を通して会話をはじめとして、テーマとその社会的背景について学びます。英語で映画について語りましょう。

「英語でさぐる！」

英会話中級(午後)

英語でガイド経験をしてみませんか？

長崎の歴史・文化についても学びます。

長崎市



ランティニアガイドとしての認定も可能

「英語でガイド！」

英会話上級(午後)

ディベートを通して、英語コミュニケーション能力、論理的思考力・表現力などを高め、「使える英語」を身につけることを目的としています。

「ネット活用！仕事に役立つドイツ語会話」

ドイツ語会話初級(午前)

Podcast・WEBサイト等を使って文化や歴史の知識を深めましょう！ペア・グループワークを通じて会話も行つ予定です。

「Bonjour!旅の気分分フランス語」

フランス語会話初級(午前)

ホテルの予約・チケット購入など、様々な場面での会話を紹介します。旅先でフランス人と少し話ができる旅行がぐっと楽しくなりますよ。

「Homeから始めるスペイン語」

スペイン語会話初級(午後)

初めて学ぶ人のための講座です。発音が日本語と似ているため日本人にとって学びやすい言語です。挨拶・趣味それに簡単な会話を楽しく学びましょう。

「北京オリンピックを楽しむ中国語！」

中国語会話初級(午後)

挨拶・自己紹介から始め、搭乗手続きやホテルでのチェックインなど旅行にも役立つ会話を学



びます。中国茶や歌、それに漢詩の楽しみ方についてもたつぷりと紹介します。なお、八月四日(月)は休講のため、八月七日(木)に午後一時半と午後三時四十五分の二回実施
「通じる・楽しい韓国語！」

韓国語会話初級(午前)

いつでも使える会話と入国の手続き・買い物、レストランで役立つ旅行会話を学びます。毎回、韓国の食文化と観光スポットを紹介する予定です。

同時通訳養成講座

期間：八月二日(土)～八月八日(金) 七日間連続

九時～十六時三十分
六時間×七日間＝四十二時間

対象：日英に堪能であること
受講料：教材費一万円込みで、一般八万円 本学卒業生・科目等履修生等七万円 本学学生五万円

後援：長崎県教育委員会・長崎市教育委員会、時津町教育委員会

同時通訳モジュール教室、同時通訳ブース付き演習室を使った

本格的な訓練を行います。

第一線で活躍する通訳者による指導で現場に入る前の

資料の読み方から、リサーチの方法、プロならではの洗練された表現を学ぶことができます。

遊んで学べる

ジュニア英語

2008

期間：八月一日(金)～八月六日(水) 八月三日(日)は休講

十時～十二時 二時間

×五日間＝十時間

対象：小学高学年

受講料：一万円

(外国人教員と日本人教員のチームティーチング形態をとっています)

本講座は、パターン学習的なものではなく、様々なアクティビティを通して自然な場面で基礎的な英語に触れ、そのエッセンスを学んでいきます。

文字は使用せず、耳を頼りに英語のスピード・リズム・イントネーションなどを体感します。



「長崎外大論叢」の発行について

「長崎外大論叢」は本学の大学・短大が共同で発行する「紀要」です。平成十三年、大学開学を機に、それまで長崎外国語短期大学が発行してきた「論叢」を引き継ぐ形で創刊されました。誌名の「長崎外大」は長崎外国語大学、長崎外国語短期大学の共通した略称であり、両者が一体となつて発行する紀要であること、また、「論叢」は数十年に亘り培った知の継承を表しているのです。一昨年は第十号を創立六十周年記念事業の一環として発行しました。又、昨年発行の第十一号では表紙デザインを一新しました。

なお、創刊号から第十一誌に一三七編の論文が収載されています。本学教員の専門分野やその研究成果、教育に対する取り組みを知るために学生はもちろん、卒業生、保護者の方々にもぜひご覧頂きたいと思つています。印刷部数に限りがありますが、ご希望の方にはお分けいたします。メール及び電話でお申し込み下さい。又、第十号以降につきまは図書館のホームページで本文をご覧いただけます。併せてご利用下さい。

E-mail: library@tc.nagasaki-gaigo.ac.jp
電話：〇九五 八四〇 二〇〇五
URL: http://www.nagasaki-gaigo.ac.jp/library/
(マルチメディア・ライブラリー事務室 岡村泰子)

問い合わせ 文化センター
☎〇九五(八四〇)二〇〇六
URL: http://www.nagasaki-gaigo.ac.jp/culture_c/index.html



今年度も開催 オープンキャンパス



高校生に1日を通して、本学をよく理解してもらおうイベント「オープンキャンパス」が今年度も開催されます。

今年度は7月、8月、9月、来年3月に行なわれる「グランドオープンキャンパス」と、毎月第2土曜日開催の「オープンキャンパス」に分け、複数回の参加が可能な日程と、毎回違う内容で本学を知ってもらおうのが特長です。

グランド

オープンキャンパス

7月26日(土) 8月23日(土)
9月20日(土) 2009年3月28日(土)
[12:00~16:00]

全学を挙げて行なわれるグランドオープンキャンパスでは、先輩からのメッセージや、世界中の料理をワンプレートで提供するインターナショナルランチ、入試、留学等、各種相談コーナーの他、毎回違うテーマで外国語体験クラスが行なわれます。



第1回のテーマ「日本語の中の外国語、外国語の中の日本語」では、「柔道=Judo」「寿司=Sushi」など、今では世界共通語となった日本語の紹介や、ドイツ語の「Flugzeug」を、「Flug=飛行・飛ぶ」「Zeug=道具・器具」に分解し、「飛行する道具・器具」つまり、「飛行機」として日本語で認

《外国語体験クラステーマ》

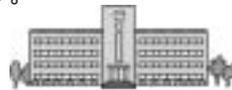
7月：「日本語の中の外国語、外国語の中の日本語」

8月：「外国語を深く理解するために～英語・ドイツ語・フランス語・中国語・韓国語・日本語の構造比較～」

9月：「こんなにおもしろい、日本と外国の多彩な文化を知ろう～メンタリティーから食事まで～」

2009年3月：「外国語を使う勇気を持とう」

識されるようになったなど、楽しくてためになる事例を伝え、文法などではない、語学を学ぶ喜びを伝える内容となっています。



《特別講義テーマ》

6月：「パンダと学ぶ中国語」

7月：「フランス人と楽しむベタンク」

8月：「中国語って、むずかしいの？」

9月：「大学レベルの視聴覚演習と発音実技指導」

10月：「徹底指導 小論文」

11月：「英語を深く理解するために『英語とフランス語の構造比較』」

12月：「英語を深く理解するために『英語と日本語の構造比較』」

2009年1月：「中国語とはどんな言葉か」

2月：「Phraseologyと英語教育」

3月：「英字新聞を読もう！」

講義テーマは変更することもあります。

《特別講義テーマ》

6月：「パンダと学ぶ中国語」

7月：「フランス人と楽しむベタンク」

8月：「中国語って、むずかしいの？」

9月：「大学レベルの視聴覚演習と発音実技指導」

10月：「徹底指導 小論文」

11月：「英語を深く理解するために『英語とフランス語の構造比較』」

12月：「英語を深く理解するために『英語と日本語の構造比較』」

2009年1月：「中国語とはどんな言葉か」

2月：「Phraseologyと英語教育」

3月：「英字新聞を読もう！」

講義テーマは変更することもあります。

一方、グランドオープンキャンパスの縮小版であるオープンキャンパスも毎回特別講義内容が変わります。



(左下図参照)

多くの高校生にとって、初体験となるであろう、中国語やドイツ語、フランス語は楽しさや親しみやすさが中心となりますが、中学・高校で経験している英語に関しては、大学レベルの講義も含めており、貴重な体験となるはずで

また、講義だけでなく、英語のコミュニケーションを実践する「GAIDAI BUCKS CAFE」も楽しみな企画です。

CAFEカウンターの向こうはネイティブスピーカーが臨時のバーテンダーとなって、コーヒーやジュース、スナックなどの注文の他、いろいろな質問など、全ての会話は英語で行われます。他のスタッフも積極的に参加者に声をかけるので、恥ずかしがらずに、そして、いろんな表現にチャレンジしてみましょう。

盛りだくさんの日程、企画でお送りする「グランドオープンキャンパス」「オープンキャンパス」にみなさまもぜひお越しください。申し込み方法など、詳しくは、入試広報室まで。

(フリーダイヤル 0120-421-001)



編集後記

二〇〇八年五月十二日、中国南部の四川省汶川県を震源とするマグニチュード8.0の大規模地震が発生した。一週間ほど経ったある新聞記事に涙が止まらなかった。建物の崩壊現場で両手を地に突き、ひざまずいた状態で死亡、発見された女性。体の下には生後三、四ヶ月の男の子。赤子が無傷ですやすやと眠っていたと記事にあった。おくるみから携帯電話がこぼれ出て、「いとしい赤ちゃん、もし生き延びられたらお母さんがあなたを愛していたことを覚えていてね」。物質的には決して恵まれない「これから」かもしれないが、命をかけて自分を守ってくれた母親の無償の愛は一生の支え・宝・誇りとなるだろう。死んでもなお生き続ける母の愛を強く感じ取って生きていくにちがいない。

二〇〇九年四月から本学は新しく生まれ変わる。五十八年を経た短大の長い歴史に幕が降るされ、大学が一学部二学科体制となる。時代の流れにに応じて変化すべきは大事であり、またそうあらねばならないが、卒業生の一人としてまた本学に携わる者として短大閉校は心に穴が開く。しかし変わるものと変わらないものが明確であることがその気持ちを払拭する。建学の精神「キリスト教精神に基づき、外国語と国際文化に関する知識を教授研究し、国際的な視野と円満な人格の涵養を図り、もって地域並びに人類社会の福祉と発展に寄与しうる人材を育成する。」は生き続ける。学院ロゴマーク「W」が示す「WERTAS VITA わたしは道であり、真理であり、命であるの軸芯は揺らぐことはない。赤ちゃんを命がけて守った母の愛が不動であるように、本学の建学の精神もこれからずっと変わらない。

吉永京子